



7

Jul.

8

Aug.

9

Sep.

10

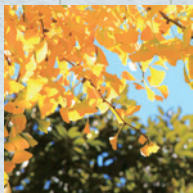
Oct.

11

Nov.

12

Dec.

ヤマユリ YAMAYURI
(*Lilium auratum*)ムクゲ MUKUGE
(*Hibiscus syriacus*)ハス HASU
Lotusサルスベリ SARUSUBERI
(*Lagerstroemia indica*)フヨウ FUYO
(*Hibiscus mutabilis*)ハギ HAGI
(*Lespedeza thunbergii*)キンモクセイ KINMOKUSEI
(*Osmanthus fragrans* var. *aurantiacus*)ヒガンバナ HIGANBANA
(*Lycoris radiata*)ツワブキ TSUWABUKI
(*Farfugium japonicum*)ノギク NOGIKU
Wild chrysanthemumコウヨウ KOYO
Autumn tint(maple & ginkgo)モミジ MOMIJI
Mapleイチヨウ ICHO
(*Ginkgo biloba*)サザンカ SAZANKA
(*Camellia sasanqua*)カンツバキ KANTSUBAKI
(*Camellia sasanqua*)スイセン SUISEN
(*Narcissus tazetta*)

ボランティアによる各種サービス

■ 園内ガイド(無料)・・・三溪園の見どころをご案内します。

*フリーガイド 10:00～12:00/13:00～15:30の間、随時受付

*ガイドツアー 日本語・・・11:00～/13:30～ 各回約60分
内苑入口集合 定員30名
英語・・・月～土曜日 13:30～ 約60分
正門近くの案内板前集合 定員20名*団体ガイド 対象人数10名様以上
※お申し込み方法など、詳しくはお問い合わせください。

■ 自然観察会(無料)・・・園内の植物などを観察します。

毎月10日 10:30～ 約60分
正門近くの案内板前集合 定員20名

■ 一日庵茶会(有料)・・・古建築を会場に催す一日限定の茶会。 年2回開催予定。

※天候ほか都合により、サービスを休止する場合があります。
詳しくはお問い合わせください。

※サービスを利用される際は、三溪園の入園料が別途必要となります。

旧矢篋原家住宅(合掌造り)

保存修理工事のお知らせ

工事期間：2027年3月まで(予定)

重要文化財 旧矢篋原家住宅は保存
修理工事を行います。
期間中は、仮屋根により建物をご覧
いただけなくなります。大切な建物を
守り、後世に伝え続けるための重要
な工事です。
ご了承くださいますようお願い申し上
げます。**入 園 料** 大人(高校生以上) ¥900 こども(小・中学生) ¥200
団体(10名以上) ¥800 こども ¥100
※他の割引料金など、詳しくはお問い合わせください。**開園時間** 9:00～17:00(入園は16:30まで)**休 園 日** 12月26日～31日

アクセス

- JR京浜東北根岸線根岸駅から《市バス58・101系統》約10分「本牧」下車・徒歩10分
- 横浜駅東口から《市バス8・168系統》約40分「三溪園入口」下車・徒歩5分
- 横浜駅東口から《ぶらり三溪園バス》(土・日・祝日のみ)約36分「三溪園」下車すぐ
- 桜木町駅から《市バス8・168系統》約25分「三溪園入口」下車・徒歩5分
- みなとみらい線元町中華街駅4番出口「山下町」から《市バス8・168系統》約15分「三溪園入口」下車・徒歩5分

国指定名勝

公益財団法人 三溪園保勝会

〒231-0824 横浜市中区本牧三之谷58番1号

TEL 045-621-0634・0635

FAX 045-621-6343

https://www.sankeien.or.jp

※お問い合わせの際は、番号をお間違えないようご注意ください。

三溪園

2026年三溪園 花と行事

—開園120周年—



国指定名勝 三溪園

SANKEIEN GARDEN
2026 Flowers & Eventsカンツバキ KANTSUBAKI
(*Camellia sasanqua*)スイセン SUISEN
(*Narcissus tazetta*)ヤマツバキ YAMATSUBAKI
(*Camellia japonica*)ウメ UME
Plum blossomコブシ KOBUSHI
(*Magnolia kobus*)サクラ SAKURA
Cherry blossomユキヤナギ YUKIYANAGI
(*Spiraea thunbergii*)シャガ SHAGA
(*Iris japonica*)ヤマブキ YAMABUKI
(*Kerria japonica*)フジ FUJI
Wisteriaツツジ TSUTSUJI
Azaleaウノハナ UNOHANA
(*Deutzia crenata*)サツキ SATSUKI
Azalea

1

Jan.

2

Feb.

3

Mar.

4

Apr.

5

May.

6

Jun.

スイレン SUIREN
Water lilyハナショウブ HANASHOBU
Irisアジサイ AJISAI
Hydrangeaハンゲシヨウ HANGESHO
(*Saururus chinensis*)

花ごよみ Floral Calendar

JAPANESE NAME

English name

(Scientific name)

※天候により、開花状況や花期が変わることがあります。
詳しくはお問合せください。

2026 三溪園イベントスケジュール

Sankeien Garden Exhibitions & Events 2026

三溪園で過ごすお正月 —横浜市指定有形文化財 鶴翔閣公開—

1月1日(木・祝)～1月3日(土)
9:00～16:00

Japanese Traditional Events in Kakushokaku
at New Year Jan.1 – Jan.3

三溪園の創設者・原三溪の旧宅・鶴翔閣は明治35(1902)年に建てられた延床面積950㎡を誇る壮大な木造建築で、かつて横山大観や和辻哲郎など多くの文化人が出入りしたことで知られています。期間中は、日替わりの催しも楽しめます。

1月1日(木・祝) 箏曲(琴美会)
1月2日(金) 庖丁式(横浜萬屋心友会)
1月3日(土) 和妻(養老瀧之丞)

フォトコンテスト入賞作品展

1月1日(木・祝)～5月18日(月)
Exhibition of Photograph Works on the Theme of
Sankeien Selected by Contest at Sankei Memorial.
Jan.1 – May.18

応募作品から選ばれた46点を展示。四季それぞれに表情
を変える、三溪園の魅力が作品を通して味わえます。

※掲載写真は2024年度推薦作品

盆栽展

1月11日(日)～25日(日)
9:00～16:00(最終日は15:30まで)
Bonsai Exhibition Jan.11 – Jan.25

松柏類、花梨、椿、雑木を中心とした盆栽約40
鉢を展示。鉢上の小さな自然が楽しめます。
期間中は盆栽の手入れに関する相談も随時受け
付けます。

共催：横浜三溪園卓月会

初天神

1月25日(日)
11:00
Hatsutenjin Sankeien -Tenmangu Shrine Ceremony
Jan.25

三溪園天満宮は、三溪園にほど近い間門の旧家・高梨家が
江戸時代に同地の丘の中腹に祀った間門天神がその前身で
す。
この日の参拝者には合格祈願鉛筆を進呈します。
(数量限定)



建物公開



季節の花・
風物を楽しむ



展示(美術・写真作品・
伝統園芸など)



夜景・
ライトアップ



体験・講座・
講演など



音楽・
芸能鑑賞

開催日時・内容などについては、都合により変更となる
場合があります。くわしくは三溪園へお問合せください。

観梅会

2月7日(土)～3月3日(火)
Plum Blossom Viewing Feb.7 – Mar.3

三溪園は古くから梅の名所としても有名です。特
に竜が地を這うような枝ぶりの「臥竜梅(がりょうば
い)」や中国・上海市から贈られた、花弁を支える
萼の部分が緑色の「緑萼梅(りよくがくばい)」など、
珍しい種類を含む約500本が園内を彩ります。

関連の催し

・初音茶屋での麦湯無料接待 土・日・祝日
・梅盆栽展 2月8日(日)～15日(日)



俳句大会

2月22日(日)
Haiku Competition Feb.22

往時より園内では句会が行われ多くの著名俳人が
訪れていたことにちなみ開催。参加者には園内散
策後に投句いただき、表彰式も同日に行います。
優秀作品は短冊にして三溪園天満宮で展示します。
主催：公益財団法人三溪園保勝会、横浜俳話会
参加費：有料



桜ライトアップ

3月27日(金)～4月5日(日)
※開花状況によって変更する場合があります。
閉園21:00(最終入園20:30)

Cherry Blossom Night viewing
Mar.27 – Apr.5

ライトアップにより浮かび上がる三重塔などの建造
物や桜の景観は、昼とはまた違う表情となります。
風情ある夜桜が楽しめます。



さくらそう展

4月11日(土)～4月15日(水)
9:00～16:00(最終日は15:30まで)
Primula Exhibition Apr.11 – Apr.15

桜草は、花菖蒲や朝顔などと同じく江戸時代から
栽培され、愛好されてきた古典園芸植物の一つで
す。小さな鉢の中に咲く紅色や純白色の可憐な花
を約120点を展示します。
共催：横浜さくらそう会



新緑の遊歩道開放

4月11日(土)～5月10日(日)
9:00～16:30
New green leaves promenade open to the public
Apr.11 – May.10

新緑が美しい内苑の「聴秋閣」奥の遊歩道を特別に
開放します。渓谷沿いの道からの三重塔を遠望す
る、古建築と新緑が織りなす絶景が見どころです。



俳句展

5月22日(金)～10月19日(月)
Haiku Exhibition May.22 – Oct.19

1年を通して園内の投句箱に寄せられた句のうち
入賞作品を絵と併せて展示。著名俳人の句も紹介
します。
協力：横浜俳話会
※掲載色紙は2025年度のもの(挿絵：広瀬美帆)



さつき盆栽展

5月24(日)～5月31日(日)
9:00～16:00(最終日は15:30まで)
Azalea Bonsai Exhibition May.24 – May.31

樹齢数十年のさつき盆栽など 約40点を展示。
銘木や銘花、小品盆栽を組み合わせた作品など、
色彩と表現力に富んださつき盆栽の世界が楽しめ
ます。期間中は盆栽の手入れに関する相談も随時
受け付けます。
共催：横浜三溪園卓月会



朝顔展

7月24日(金)～7月28日(火)
9:00～12:00
Morning Glory Exhibition Jul.24 – Jul.28

朝顔は、江戸時代、園芸ブームにのり、武士から
庶民にいたるまで、広くもてはやされ親しまれて
きました。直径が20センチを超える大輪朝顔や、
葉や花びらが変異した珍しい変化朝顔など、約40
点を日替わりで展示します。
共催：横浜朝顔会



早朝観蓮会

7月25日(土)・26日(日)、
8月1日(土)・2日(日)、
8月8日(土)・9日(日) 開園7:00

Early Morning Lotus Viewing
Jul.25 – Jul.26, Aug.1 – Aug.2, Aug.8 – Aug.9

原三溪は、泥の中から清らかな花を咲かせる蓮を、
とりわけ愛好しました。夏の暑い時期、早朝のす
がすがしい空気の中で、咲いたばかりの蓮が観賞
できます。蓮の葉シャワーや蓮茎の糸取り体験な
ど、こどもから大人まで楽しめます。



夏の鶴翔閣公開

8月9日(日)～8月15日(土)
9:00～16:00

Historic Building -Kakushokaku Open
to the Public Aug.9 – Aug.15

明治35(1902)年に原三溪が自らの住まいとして
建てた鶴翔閣には、三溪の支援を受けた画家た
ちが集い、また制作を行った部屋がのこされています。



観月会

9月25日(金)～29日(火)
閉園20:30(最終入園20:00)

Hervest Moon Night Viewing
Sep.25 – Sep.29

三重塔をはじめ、庭園や建造物の数々をライト
アップします。また日替わりで音楽や舞踊を催し
ます。和の情緒たっぷりのお月見をお楽しみく
ださい。

中秋の名月 9月25日(金)・満月 9月27日(日)



菊花展

10月31日(土)～11月23日(月・祝)
Chrysanthemum Exhibition
Oct.31 – Nov.23

日本の秋を代表する花、菊花約240点を展示。
大菊や小菊盆栽などレパートリー豊かな菊花の
世界が楽しめます。特に江戸時代から各地で改
良、伝えられてきた古典菊は、珍しく必見です。
協力：横浜菊花会、小菊盆栽芸術協会長生会



紅葉の遊歩道開放

11月20日(金)～12月13日(日)
9:00～16:00

Autumn Foliage promenade open to the public
Nov.20 – Dec.13

三溪園を代表する紅葉スポットである「聴秋閣」
の奥の遊歩道を開放します。三重塔を遠望する
紅葉の絶景が見どころです。あわせてイチョウ
の落葉で黄色の絨毯の様に敷き詰められた旧天
瑞寺寿塔覆堂周辺も秋の風情を楽しめます。



三溪園開園120周年



三溪園は1906年の開園から、2026年で120周年を迎えます。これを
記念した特別イベントを年間を通じて開催する予定です。
詳しい情報は順次公式サイト、SNSなどでお知らせいたします。
どうぞご期待ください。



HP



X(旧Twitter)



Instagram